

202301 実施 ICT 利活用保護者向けアンケートまとめ

1. 実施期間：1/26(木)～2/15(水) ※1/26(木)にマチコミにて回答依頼
2. 回答状況

学年 \ 組	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	総回答数
1学年(48期生)	21	12	15	17	14	12	17	19	286
2学年(47期生)	20	12	13	13	10	16	12	16	
3学年(46期生)	7	9	4	4	5	5	10	3	

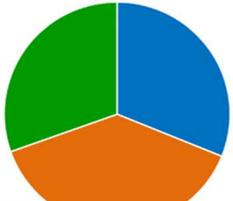
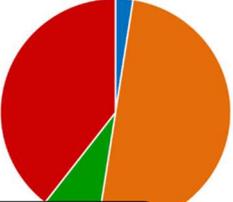
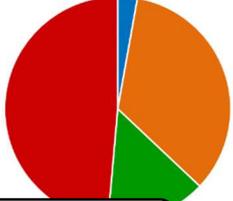
- 3.
4. アンケートの状況

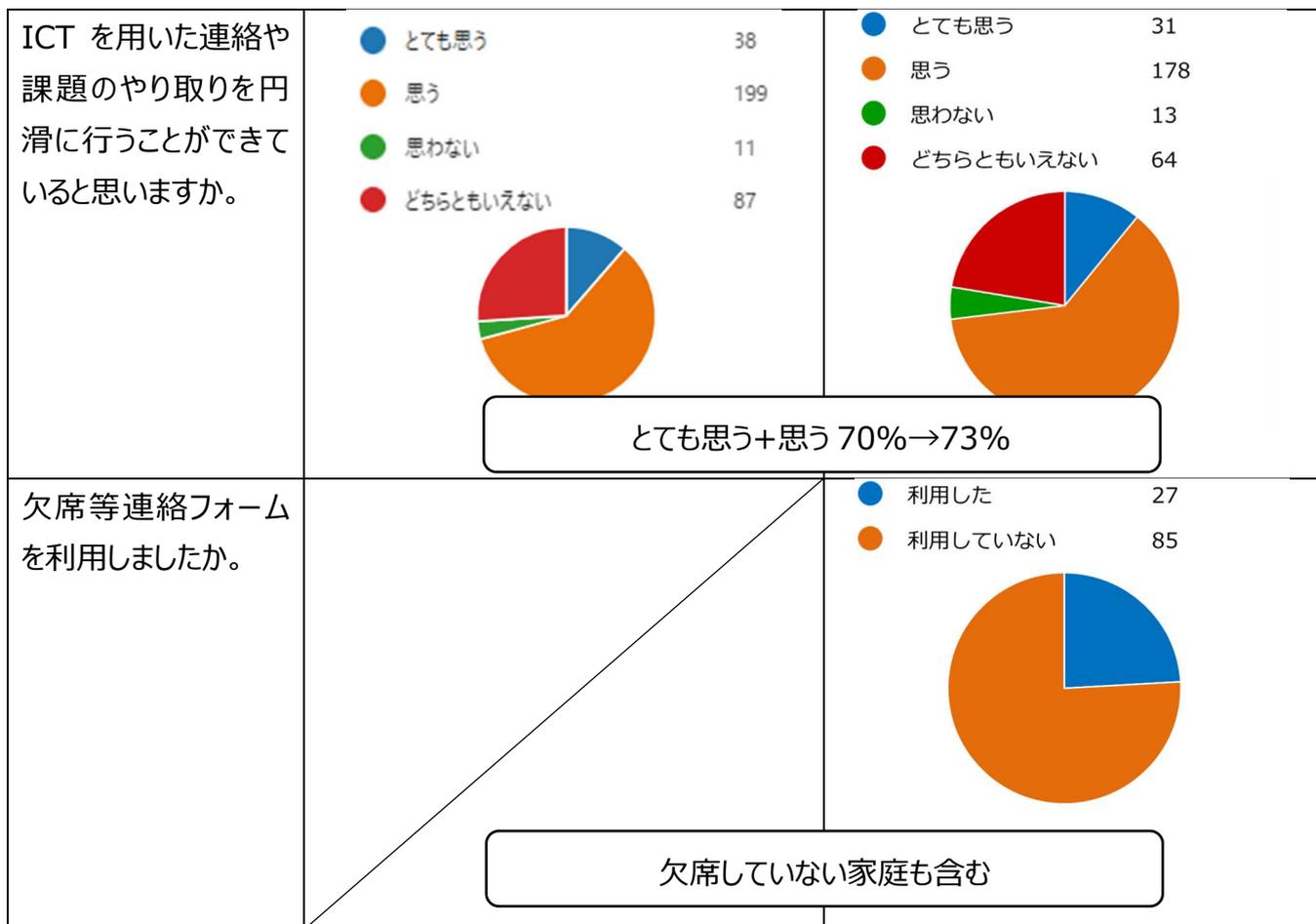
設問	2022年7月実施(前回)	2023年1月実施(今回)
本校が ICT 利活用授業研究推進校として、ICT を効果的に活用した授業や環境の整備に取り組んでいることは知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 知っている 305 ● 知らない 30 <p>知っている: 305 (91%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 知っている 264 ● 知らない 22
学習活動などの場面において、お子様は ICT を効果的に活用できていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ● とても思う 34 ● 思う 204 ● 思わない 14 ● どちらともいえない 83 	<ul style="list-style-type: none"> ● とても思う 21 ● 思う 171 ● 思わない 21 ● どちらともいえない 73
ICT を活用した教育活動により、お子様はスマートフォン等 ICT 機器を適切に使用できていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ● とても思う 57 ● 思う 199 ● 思わない 13 ● どちらともいえない 66 	<ul style="list-style-type: none"> ● とても思う 33 ● 思う 184 ● 思わない 15 ● どちらともいえない 54

認知度は高い

とても思う+思う 71%→67%

とても思う+思う 76%→76%

<p>お子様のスマートフォン・PC等ICT機器の適切な利用に関してご家庭で話し合ったことはありますか。</p>	<p>● ある 223 ● ない 112</p> 	<p>● ある 200 ● ない 86</p> 
<p>ない 33%→30% 若干減少</p>		
<p>お子様がスマートフォン等の情報端末を適切に使用する上で、ご家庭でルールを設けていますか。</p>	<p>● 設けている 130 ● 設けていない 104 ● どちらともいえない 101</p> 	<p>● 設けている 89 ● 設けていない 110 ● どちらともいえない 87</p> 
<p>設けている 39%→31%</p>		
<p>ICT を活用することで、お子様の授業内容の理解が深まっていると思いますか。</p>	<p>● とても思う 14 ● 思う 153 ● 思わない 16 ● どちらともいえない 152</p> 	<p>● とても思う 7 ● 思う 143 ● 思わない 23 ● どちらともいえない 113</p> 
<p>とても思う+思う 50%→52%</p>		
<p>ICT を活用することで、お子様の思考力・判断力・表現力等が高まったと思いますか。</p>	<p>● とても思う 12 ● 思う 97 ● 思わない 41 ● どちらともいえない 185</p> 	<p>● とても思う 8 ● 思う 98 ● 思わない 41 ● どちらともいえない 139</p> 
<p>とても思う+思う 32%→37%</p>		



ICT 利活用授業についてご意見・ご感想をお聞かせください。

<p>もっと本格的に PC を使用していいと思う。作文や、論文も PC で作成して、保護者にも触れる機会があったら、もう少し ICT 授業の理解できたように思う。(活性化 7 件)</p>
<p>子どもは教えてくれないので、どのようなことをやっているのか知りたい(可視化 11 件)</p>
<p>悪天候や感染症での休校の場合、迅速かつ適切なりモート授業への対応をしてほしい。プロジェクターとパソコンの連動など。(オンライン授業 4 件)</p>
<p>本人達はすぐ吸収するなと思った</p>
<p>本人からあまり詳しい内容は聞いていませんが、提出物などが家でゆっくりしているタイミングで提出出来るため、確実に提出しやすくなっているのではないかと思います。</p>
<p>これからの時代には、必要だと思うので、良いと思います。</p>
<p>ICT 活用により、城山高校に志望しました。世代に合った授業を施行して頂くのはとても良い事だと思います。</p>
<p>ICT 機器は今誰もが使っている中で正しく且つ有効に利用でき、子どもはその正しい使い方を学べるので良いと思います。</p>
<p>今後も活用できること、有難いです</p>
<p>タブレットなど、自分の携帯を使わない方法はないのかなと思う。</p>
<p>時代に合わせた取り組みには賛成ですが、先生や周りとの対話からの学びも同じ様に進めて頂けると安心出来ます。</p>
<p>先生の対応が悪い</p>

ICTも大事ですが、根本的なしっかり考え、みんなで意見を交換し口頭で話し合ったりする場も大切であると感じます。課題についてもPCを利用するのも大切ですが、手書きの書面を提出するのも大切であると感じます。
動画を作成する課題で課題の前にどのアプリを使うのか、それまでの課題前の使い方がわからず、苦戦していたので、個々のタブレットの使い方の状況を把握してから課題をだしてほしい。または、紙ベースで、使い方のマニュアルがあるとよい。
素晴らしい取り組みだが、プログラミングのテストで二進法の問題が出たと聞いて閉口した。そこは仕組みだけで、現在使われているC言語を教えたほうが…
子供はICT=学校でWiFiが使える程度にしか感じておらず、今の単位数では理解するにはならないと思います。来年度から始まるプログラミングについても、それなりにつめてやらなければ意味をなさないのではないかと思います。プログラミングを経験させることで子供達の興味を持たせたいということであれば、きっかけ作りにはいいかもしれません。保護者側からすると子供達にICTを学ばせることで何を伝えたいのかがはっきりしない。

1人1台端末について授業での活用について要望があれば記入してください。

良いと思います（肯定 5件）
どのように活用されているのか、半年に1回程度案内があると良いと思います（可視化 3件）
もっと使用して下さい
ネット通信環境が悪いと聞いているので、良くなるとよいなと思います。
ブラインドタッチやワード、パワーポイント、エクセルなど使いこなせるような授業や課題を出して欲しい。
Wi-Fiをちゃんと行き渡る様にして欲しい
スマートフォンで事足りるならそれはそれで良い。教科書と端末を持ち歩くのはなかなか大変ですよね。
パワーポイント等作成できるスキルを習得させてほしい
ネット環境が安定しないということを知ったのでたくさんの人数でも安定して使えるようになって欲しいです。
学校で充電できるようにしてほしい
購入時の負担が大きい

欠席等連絡フォームについて要望があれば記入してください。

イニシャルにする必要はないのでは？
電話の方が手取り早かったため
とても良いシステムだと思う
こども(本人)でも使えるのは仕事をしている保護者としては便利ではあるが、自分勝手に休めてしまうので、休みの通知を保護者にも送信されるように設定してほしい

5. アンケートを受けての今後の展望

【ICT 利活用授業について】

教員研修の実施や授業のノウハウの共有を今後も継続して行い、授業の質を確保する。
一人一台端末について、もっと活用してほしいという要望が多かった。chromebook の積極的な有効活用ができるよう引き続き ICT 利活用推進チームを中心に研究推進を行い、教員向けの研修を定期的
に実施することで、各教科で一人一台端末をさらに活用できるようにする。

【環境について】

引き続き校内の wifi 環境の改善を図る。

【その他】

一人一台端末がどのように活用されているかがわからないという声が多く、一人一台端末を用いた授業の保護者への可視化が必要である。日々の授業を中心とした「ICT 利活用授業」の取り組みを学校ホームページに継続的に掲載する等、情報発信のさらなる充実を図る。

欠席連絡フォームについては大きな問題は無かったが、保護者が欠席を把握できるようにする必要がある。

【まとめ】

今年度 2 回目となる“保護者向けアンケート”を実施し、多くの回答を得た。(286 件)
ICT 利活用の取組や、オンライン授業について保護者の声から課題や改善点を把握することができ、前回のアンケートから改善できている点とそうでない点も明確にすることができた。
それらを踏まえ、現時点での本校における課題等を校内で共有・協議し、課題の解決に向けた取り組みをさらに進めていく。また、欠席連絡フォームなど、新たな取り組みを今後も積極的にしていく。

今後も年 2 回の ICT 利活用保護者向けアンケートや教職員アンケート、生徒による授業評価を実施し、比較・検討を行うことで、ICT 利活用やプログラミング教育を踏まえた授業を中心とした教育活動の充実を図る。

各教科、総合的な探究の時間、LHR 等の教育活動を通じて、これからの時代に求められる情報活用能力を、プログラミング的思考を踏まえて引き続き学校全体で組織的に育成する。